

Data & Information

入試ハンドブック 2023

Japanese Red Cross College of Nursing

日本赤十字看護大学
看護学部
さいたま看護学部



新型コロナウイルス感染症の影響等により、予定を変更する可能性があります。本冊子に掲載の内容は、2022年6月1日現在の情報です。最新情報は本学ホームページをご確認ください。

目次

2023年度入学者選抜試験概要

看護学部看護学科

- 1. 一般選抜 1
- 2. 大学入学共通テスト利用型選抜 2
- 3. 学校推薦型選抜 3

看護学部看護学科 [3年次編入学] 5

さいたま看護学部看護学科

- 1. 一般選抜 6
- 2. 大学入学共通テスト利用型選抜 7
- 3. 学校推薦型選抜 8

2023年度入学者選抜試験日程／各入試種別および併願パターン・同時出願による割引… 10

入試結果 11

Information

- I. 学生募集要項・過去問題集について 13
- II. オープンキャンパス、ミニオープンキャンパス、さいたま看護学部説明会について 13
- III. キャンパス見学、外部進学相談会について 14
- IV. 高校生向け公開授業について 14

学費・特待生制度 15

奨学金制度 16

Q&A 18

アドミッション・ポリシー

本学では、赤十字の理念に基づき、看護の実践と研究に必要な基礎的能力を持ち、人類と国際社会に貢献できる、幅広い教養と豊かな人間性のある人材を育てることを目指しています。そのために、次のような学生を求めています。

- 1 赤十字理念である人道（ヒューマニティ）に共感し、自分も他者も大切にできる人
- 2 看護学を学ぶために必要な基礎学力を持ち、論理的に考えることができる人
- 3 感性が豊かで、多様な人とコミュニケーションをとることができる人
- 4 看護に関する学問・実践の楽しさや深さを発見し、持続的に学ぼうとする意欲を持つ人

※詳細およびカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーは本学ホームページをご覧ください。

入試ハンドブックでは、各試験の名称を次のように記載しています。

- ・一般入学者選抜試験 ⇒ 一般選抜
- ・大学入学共通テスト利用型入学者選抜試験（Ⅰ-A・Ⅰ-B・Ⅱ）
⇒ 共通テスト利用型（Ⅰ-A・Ⅰ-B・Ⅱ）

2023年度入学者選抜試験概要

看護学部看護学科

定員 130名

1. 一般選抜

- ・募集人員50名
- ・出願資格次の各号のいずれかに該当する者
- (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2023年3月に卒業見込みの者
- (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次のいずれかに該当する者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2023年3月31日までに修了見込みの者
 - エ 文部科学大臣の指定した者
 - オ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、2023年3月31日までに18歳に達する者
- (4) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (5) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者
- ・出願期間2022年12月20日(火)～2023年1月13日(金)
- ・第1次試験日2023年2月1日(水)

第1次試験科目・時間一覧

教 科 ▶	科 目	試験時間
国 語 ▶	国語総合(古典(古文・漢文)除く)(記述式問題を含む): 様々な領域に関する資料を読み、設問に答える。	60分
数 学 ▶	数学Ⅰ・数学A	} この中から1科目選択する。 60分
化 学 ▶	化学基礎と化学	
生 物 ▶	生物基礎と生物	
理科(基礎) ▶	生物基礎と化学基礎	
英 語 ▶	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ	60分

筆記試験の解答方式は、マークシート式です。国語のみ一部の設問で記述式問題(※)を出題します。
※2022年度選抜では、記述式問題を15点程度の配点で出題しました。

(配点: 各科目100点)

- ・第1次試験合格発表日.....2023年2月7日(火)
- ・第2次試験日.....2023年2月9日(木)

第2次試験科目一覧

科 目
面 接 ▶ グループ討議・個人面接

(面接点は非公表です。)

- ・合格者の発表.....2023年2月16日(木)
- ・入学手続き期間.....2023年2月17日(金)～2月27日(月)

2. 大学入学共通テスト利用型選抜

- ・募集人員……………Ⅰ-A：5名、Ⅰ-B：5名、Ⅱ：5名
- ・出願資格……………一般選抜の欄(1ページ)に記載の出願資格(1)～(5)のいずれかに該当し、かつ2023年度大学入学共通テストを受験する者

2-1. 共通テスト利用型(Ⅰ-A／Ⅰ-B)

- ・出願期間……………2022年12月20日(火)～2023年1月13日(金)
- ・大学入学共通テスト実施日…2023年1月14日(土)・15日(日) ※本学独自の入学者選抜試験は実施しません。

共通テスト利用型(Ⅰ-A)科目一覧

教科▶	科目	
英語▶	英語(リスニングを含む)	
数学▶	数学Ⅰ・数学A	
数学▶	数学Ⅱ・数学B	} この中から1科目選択する。
理科▶	化学	
理科▶	生物	
理科▶	化学基礎と生物基礎	

(配点：各科目200点)

共通テスト利用型(Ⅰ-B)科目一覧

教科▶	科目	
英語▶	英語(リスニングを含む)	
数学▶	数学Ⅰ・数学A	
国語▶	国語(古典(古文・漢文)除く)	

(配点：各科目200点)

- ・合格者の発表……………2023年2月16日(木)
- ・入学手続き期間……………2023年2月17日(金)～2月27日(月)

※過年度分の成績データは使用しませんので、必ず2023年度大学入学共通テストを受験してください。本学では出願時に選択科目を決定し、出願書類提出後は選択科目の変更・差替えを認めません。

2-2. 共通テスト利用型(Ⅱ)

- ・出願期間……………2023年2月13日(月)～2月20日(月)
- ・大学入学共通テスト実施日…2023年1月14日(土)・15日(日) ※本学独自の入学者選抜試験は実施しません。

共通テスト利用型(Ⅱ)科目一覧

教科▶	科目	
英語▶	英語(リスニングを含む)	
国語▶	国語(古典(古文・漢文)除く)	} この中から2科目選択する。 ※国語、数学から必ず1つ以上選択すること。
数学▶	数学Ⅰ・数学A	
理科▶	化学	
理科▶	生物	
理科▶	化学基礎と生物基礎	

(配点：各科目200点)

- ・合格者の発表……………2023年3月6日(月)
- ・入学手続き期間……………2023年3月7日(火)～3月14日(火)

3. 学校推薦型選抜

3-1. 公募推薦選抜

- ・募集人員……………入学定員の約50% (65名)※指定校推薦入学者及び赤十字特別(関東・甲越地区)推薦入学者を含む
- ・出願資格……………次の各号のいずれにも該当する者
 - (1)高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ)を2023年3月卒業見込みの者、または文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2023年3月に修了見込みの者
 - ※ただし、在籍する、もしくは在籍した高等学校または在外教育施設の修了月がその学校の規定上、上記の3月以外に定められている場合には、2022年4月以降2023年2月までの卒業(修了)者、卒業(修了)見込みの者も、2023年3月卒業(修了)見込みの者と同じと見なします。
 - (2)高等学校在学中の全体の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上で、本学において優秀な学習成果をあげることが期待できる者
 - (3)看護の分野における学習と実践活動への意欲とそれを実現できる適性と能力を持ち、本学への入学を強く希望する者
 - (4)合格した場合、入学を確約できる者
- ・出願期間……………2022年11月1日(火)～11月8日(火)
- ・試験日……………2022年11月19日(土)

試験科目・時間一覧

科 目	試験時間
資料読解▶ 様々な領域に関する資料を読み、設問に答える(記述式を含む)。	60分
面 接▶ グループ討議・個人面接	資料読解試験終了後

(配点：資料読解100点、面接点は非公表です。)

資料読解の解答方式は、マークシート式に加え一部の設問で記述式(※)を出題します。
※2022年度選抜では、記述式を15点程度の配点で出題しました。

- ・合格者の発表……………2022年12月5日(月)
- ・入学手続き期間……………2022年12月6日(火)～12月13日(火)

3-2. 指定校推薦選抜

- ・募集人員……………若干名(本学が推薦を依頼した高等学校長から推薦された者)
- ・出願期間、試験日等……………公募推薦選抜と同じ日程で行います。

試験科目・時間一覧

科 目	試験時間
小 論 文	60分
面 接▶ グループ討議・個人面接	小論文試験終了後

(配点：小論文は段階評価、面接点は非公表です。)

3-3. 赤十字特別推薦選抜 [関東・甲越地区]

赤十字の理念および日本赤十字救護員養成の理念を理解し、将来日本赤十字社第二ブロック(関東・甲越地区)支部内の医療機関の看護専門職者として活躍する人材を育成することを目的としています。

赤十字特別推薦選抜の合格者には、本学在学中の4年間、当該支部・医療施設から奨学金が貸与されます。なお、奨学金額は、日本赤十字社各県支部によって異なります。

- ・募集人員11名
茨城県支部 [水戸赤十字病院2名、古河赤十字病院1名]、栃木県支部 [芳賀赤十字病院1名、那須赤十字病院1名、足利赤十字病院1名]、千葉県支部 [成田赤十字病院2名]、山梨県支部 [山梨赤十字病院3名]
- ・出願資格 公募推薦選抜の出願資格に記載の(1)(3)(4)および次の各項目のいずれにも該当する者
 - ▷ 高等学校在学中の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.8以上で、本学において優秀な学習成果をあげることが期待できる者
 - ▷ 赤十字の人道的任務を達成するため、卒業後各県支部管轄内の赤十字施設で、看護師として社会に貢献する積極的な意思を有する者
 - ▷ 出願する日本赤十字社の県支部が指定する推薦基準に該当する者

日本赤十字社の各県支部が指定する推薦基準

支部が所在する県内の高等学校を2023年3月に卒業見込みの者、または県外の高等学校を2023年3月に卒業見込みで県内に住所を有する者

※1：県とは、支部が所在する県とする。

※2：県内に住所を有する者とは、入学志願者またはその一親等の親族が、入学年の前年の4月1日から引き続き県内に住所を有する者とする。

※3：通信制の高等学校卒業見込み者については、「支部が所在する県内に住所を有する者」に限る。

■併願等について

赤十字特別推薦選抜に志願する学部の公募推薦選抜への併願を可能とし、併願した者については、赤十字特別推薦選抜に不合格となった場合に、公募推薦選抜で選抜を行います。

注)・公募推薦選抜を併願する者は、公募推薦選抜の推薦基準にも該当しているものとします。

・学部をまたいだ併願はできません(同一学部内でのみ併願可能)。

- ・出願期間2022年11月1日(火)～11月8日(火)
- ・第1次試験日2022年11月19日(土)

第1次試験科目・時間一覧

科 目	試験時間
資料読解 ▶ 様々な領域に関する資料を読み、設問に答える(記述式を含む)。	60分
面 接 ▶ グループ討議・個人面接	資料読解試験終了後

(配点：資料読解100点、面接点は非公表です。)

資料読解の解答方式は、マークシート式に加え一部の設問で記述式(※)を出題します。

※2022年度選抜では、記述式を15点程度の配点で出題しました。

- ・第1次試験合格発表日2022年11月24日(木)
- ・第2次試験日2022年11月26日(土)

第2次試験科目一覧

科 目
面 接 ▶ 個人面接(本学教員及び日本赤十字社職員による面接)

(面接点は、非公表です。)

- ・合格者の発表2022年12月5日(月)
- ・入学手続き期間2022年12月6日(火)～12月13日(火)

看護学部看護学科[3年次編入学]

定員 10名

3年次編入の受験資格があり、学士の学位取得に意欲のある者に対して、学力検査(看護学)によって看護学部で学ぶために必要な学力、面接試験によってコミュニケーション能力や問題解決能力を審査します。

- ・募集人員.....10名
- ・出願資格.....次の各号のいずれかに該当する者
 - 1 看護短期大学を卒業し、看護師免許を有する者
 - 2 3年課程の看護専門学校を卒業し、看護師免許を有する者
 - 3 看護短期大学または3年課程の看護専門学校を2023年3月に卒業見込みで、看護師免許を取得見込みの者
 - 注) 「看護短期大学」とは、次に該当するものとする。
 - ・保健師助産師看護師法第21条第2号に規定する文部科学大臣の指定した短期大学。
 - 「看護専門学校」とは、次のいずれかに該当するものとする。
 - ・保健師助産師看護師法第21条第2号に規定する文部科学大臣の指定した学校。
 - ・同条第3号に規定する都道府県知事の指定した看護師養成所のうち、文部科学大臣の定める基準を満たす専修学校の専門課程。
- ・出願期間.....2022年7月15日(金)～7月28日(木)
- ・試験日.....2022年8月24日(水)

試験科目・時間一覧

科 目	試験時間
看護学▶ 看護学一般	60分
面 接▶ 個人面接	看護学試験終了後

(配点：看護学100点、面接点は非公表です。)

- ・合格者の発表.....2022年8月31日(水)
- ・入学手続き期間.....2022年9月1日(木)～9月8日(木)

さいたま看護学部看護学科

定員 80名

1. 一般選抜

- ・募集人員……………34名
- ・出願資格…………… 次の各号のいずれかに該当する者
 - (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ)を卒業した者および2023年3月に卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程により12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
 - (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次のいずれかに該当する者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定した者
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、および2023年3月31日までに修了見込みの者
 - エ 文部科学大臣の指定した者
 - オ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者で、2023年3月31日までに18歳に達する者
 - (4) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
 - (5) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者
- ・出願期間……………2022年12月20日(火)～2023年1月13日(金)
- ・第1次試験日……………2023年2月3日(金)

第1次試験科目・時間一覧

教 科 ▶	科 目	試験時間
国 語 ▶	国語総合(古典(古文・漢文)除く)(記述式問題を含む): 様々な領域に関する資料を読み、設問に答える。	60分
数 学 ▶	数学Ⅰ・数学A	この中から1科目選択する。 60分
化 学 ▶	化学基礎と化学	
生 物 ▶	生物基礎と生物	
理科(基礎) ▶	生物基礎と化学基礎	
英 語 ▶	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ	60分

(配点: 各科目100点)

筆記試験の解答方式は、マークシート式です。国語のみ一部の設問で記述式問題(※)を出題します。
※2022年度選抜では、記述式問題を15点程度の配点で出題しました。

- ・第1次試験合格発表日……………2023年2月9日(木)
- ・第2次試験日……………2023年2月11日(土)

第2次試験科目一覧

科 目
面 接 ▶ グループ討議・個人面接

(面接点は非公表です。)

- ・合格者の発表……………2023年2月17日(金)
- ・入学手続き期間……………2023年2月20日(月)～2月28日(火)

2. 大学入学共通テスト利用型選抜

- ・募集人員……………Ⅰ-A:2名、Ⅰ-B:2名、Ⅱ:2名
- ・出願資格……………一般選抜の欄(6ページ)に記載の出願資格(1)～(5)のいずれかに該当し、かつ2023年度大学入学共通テストを受験する者

2-1. 共通テスト利用型(Ⅰ-A／Ⅰ-B)

- ・出願期間……………2022年12月20日(火)～2023年1月13日(金)
- ・大学入学共通テスト実施日……………2023年1月14日(土)・15日(日) ※本学独自の入学者選抜試験は実施しません。

共通テスト利用型(Ⅰ-A)科目一覧

教 科▶	科 目	
英 語▶	英語(リスニングを含む)	
数 学▶	数学Ⅰ・数学A	
数 学▶	数学Ⅱ・数学B	} この中から1科目選択する。
理 科▶	化学	
理 科▶	生物	
理 科▶	化学基礎と生物基礎	

(配点：各科目200点)

共通テスト利用型(Ⅰ-B)科目一覧

教 科▶	科 目
英 語▶	英語(リスニングを含む)
数 学▶	数学Ⅰ・数学A
国 語▶	国語(古典(古文・漢文)除く)

(配点：各科目200点)

- ・合格者の発表……………2023年2月17日(金)
- ・入学手続き期間……………2023年2月20日(月)～2月28日(火)

※過年度分の成績データは使用しませんので、必ず2023年度大学入学共通テストを受験してください。本学では出願時に選択科目を決定し、出願書類提出後は選択科目の変更・差替えを認めません。

2-2. 共通テスト利用型(Ⅱ)

- ・出願期間……………2023年2月13日(月)～2月20日(月)
- ・大学入学共通テスト実施日……………2023年1月14日(土)・15日(日) ※本学独自の入学者選抜試験は実施しません。

共通テスト利用型(Ⅱ)科目一覧

教 科▶	科 目	
英 語▶	英語(リスニングを含む)	
国 語▶	国語(古典(古文・漢文)除く)	} この中から2科目選択する。 ※国語・数学から必ず1つ以上選択すること。
数 学▶	数学Ⅰ・数学A	
理 科▶	化学	
理 科▶	生物	
理 科▶	化学基礎と生物基礎	

(配点：各科目200点)

- ・合格者の発表……………2023年3月6日(月)
- ・入学手続き期間……………2023年3月7日(火)～3月14日(火)

3. 学校推薦型選抜

3-1. 公募推薦選抜

- ・募集人員……………入学定員の約50% (40名)※指定校推薦入学者及び赤十字特別(関東・甲越地区)推薦入学者を含む
- ・出願資格……………次の各号のいずれにも該当する者
 - (1)高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ)を2023年3月卒業見込みの者、または文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2023年3月に修了見込みの者
 - ※ただし、在籍する、もしくは在籍した高等学校または在外教育施設の修了月がその学校の規定上、上記の3月以外に定められている場合には、2022年4月以降2023年2月までの卒業(修了)者、卒業(修了)見込みの者も、2023年3月卒業(修了)見込みの者と同じと見なします。
 - (2)高等学校在学中の全体の学習成績の状況(評定平均値)が4.0以上で、本学において優秀な学習成果をあげることが期待できる者
 - (3)看護の分野における学習と実践活動への意欲とそれを実現できる適性と能力を持ち、本学への入学を強く希望する者
 - (4)合格した場合、入学を確約できる者
- ・出願期間……………2022年11月1日(火)～11月8日(火)
- ・試験日……………2022年11月19日(土)

試験科目・時間一覧

科 目	試験時間
資料読解▶ 様々な領域に関する資料を読み、設問に答える(記述式を含む)。	60分
面 接▶ グループ討議・個人面接	資料読解試験終了後

(配点：資料読解100点、面接点は非公表です。)

資料読解の解答方式は、マークシート式に加え一部の設問で記述式(※)を出題します。

※2022年度選抜では、記述式を15点程度の配点で出題しました。

- ・合格者の発表……………2022年12月5日(月)
- ・入学手続き期間……………2022年12月6日(火)～12月13日(火)

3-2. 指定校推薦選抜

- ・募集人員……………若干名(本学が推薦を依頼した高等学校長から推薦された者)
- ・出願期間、試験日等……………公募推薦選抜と同じ日程で行います。

試験科目・時間一覧

科 目	試験時間
小 論 文	60分
面 接▶ グループ討議・個人面接	小論文試験終了後

(配点：小論文は段階評価、面接点は非公表です。)

3-3. 赤十字特別推薦選抜 [関東・甲越地区]

赤十字の理念および日本赤十字救護員養成の理念を理解し、将来日本赤十字社第二ブロック(関東・甲越地区)支部内の医療機関の看護専門職者として活躍する人材を育成することを目的としています。

赤十字特別推薦選抜の合格者には、本学在学中の4年間、当該支部・医療施設から奨学金が貸与されます。なお、奨学金額は、日本赤十字社各県支部によって異なります。

・募集人員7名

茨城県支部 [水戸赤十字病院1名、古河赤十字病院1名]、栃木県支部 [芳賀赤十字病院1名、那須赤十字病院1名、足利赤十字病院1名]、埼玉県支部 [深谷赤十字病院2名]

・出願資格 公募推薦選抜の出願資格に記載の(1)(3)(4)および次の各項目のいずれにも該当する者

▷高等学校在学中の全体の学習成績の状況(評定平均値)が3.8以上で、本学において優秀な学習成果をあげることが期待できる者

▷赤十字の人道的任務を達成するため、卒業後各県支部管轄内の赤十字施設で、看護師として社会に貢献する積極的な意思を有する者

▷出願する日本赤十字社の県支部が指定する推薦基準に該当する者

日本赤十字社の各県支部が指定する推薦基準

支部が所在する県内の高等学校を2023年3月に卒業見込みの者、または県外の高等学校を2023年3月に卒業見込みで県内に住所を有する者

※1: 県とは、支部が所在する県とする。

※2: 県内に住所を有する者とは、入学志願者またはその一親等の親族が、入学年の前年の4月1日から引き続き県内に住所を有する者とする。

※3: 通信制の高等学校卒業見込み者については、「支部が所在する県内に住所を有する者」に限る。

■併願等について

赤十字特別推薦選抜に志願する学部の公募推薦選抜への併願を可能とし、併願した者については、赤十字特別推薦選抜に不合格となった場合に、公募推薦選抜で選抜を行います。

注)・公募推薦選抜を併願する者は、公募推薦選抜の推薦基準にも該当しているものとします。

・学部をまたいだ併願はできません(同一学部内でのみ併願可能)。

・出願期間2022年11月1日(火)~11月8日(火)

・第1次試験日2022年11月19日(土)

第1次試験科目・時間一覧

科 目	試験時間
資料読解▶ 様々な領域に関する資料を読み、設問に答える(記述式を含む)。	60分
面 接▶ グループ討議・個人面接	資料読解試験終了後

(配点: 資料読解100点、面接点は非公表です。)

資料読解の解答方式は、マークシート式に加え一部の設問で記述式(※)を出題します。

※2022年度選抜では、記述式を15点程度の配点で出題しました。

・第1次試験合格発表日2022年11月24日(木)

・第2次試験日2022年11月26日(土)

第2次試験科目一覧

科 目
面 接▶ 個人面接(本学教員及び日本赤十字社職員による面接)

(面接点は、非公表です。)

・合格者の発表2022年12月5日(月)

・入学手続き期間2022年12月6日(火)~12月13日(火)

2023年度 看護学部看護学科・さいたま看護学部看護学科 入学者選抜試験日程

<看護学部・さいたま看護学部共通>

試験種別	定員	出願期間	試験日程	合格発表
学校推薦型	公募推薦	入学定員の約50% 看護学部：65名 さいたま看護学部：40名	2022年11月1日(火)～ 2022年11月8日(火)	2022年11月19日(土)
	指定校推薦			2022年12月5日(月)
	赤十字特別推薦			2022年11月24日(木)
			第2次試験 2022年11月26日(土)	2022年12月5日(月)

<看護学部>

試験種別	定員	出願期間	試験日程	合格発表
一般選抜	50名	2022年12月20日(火)～ 2023年 1月13日(金)	第1次試験 2023年2月1日(水)	2023年2月7日(火)
			第2次試験 2023年2月9日(木)	2023年2月16日(木)
テスト共通利用型	I-A	2022年12月20日(火)～ 2023年 1月13日(金)	大学入学共通テスト 2023年1月14日(土)・15日(日)	2023年2月16日(木)
	I-B			
	II	2023年2月13日(月)～ 2023年2月20日(月)		2023年3月6日(月)
編入3年次	一般	2022年7月15日(金)～ 2022年7月28日(木)	2022年8月24日(水)	2022年8月31日(水)

<さいたま看護学部>

試験種別	定員	出願期間	試験日程	合格発表
一般選抜	34名	2022年12月20日(火)～ 2023年 1月13日(金)	第1次試験 2023年2月3日(金)	2023年2月9日(木)
			第2次試験 2023年2月11日(土)	2023年2月17日(金)
テスト共通利用型	I-A	2022年12月20日(火)～ 2023年 1月13日(金)	大学入学共通テスト 2023年1月14日(土)・15日(日)	2023年2月17日(金)
	I-B			
	II	2023年2月13日(月)～ 2023年2月20日(月)		2023年3月6日(月)

各入試種別および併願パターン・同時出願による割引

学校推薦型	一般選抜	共通テスト利用型 I-A	共通テスト利用型 I-B	共通テスト利用型 II	入学検定料(円)
○					35,000
	○				35,000
		○			17,000
			○		17,000
	○	○			45,000*
	○		○		45,000*
		○	○		27,000*
	○	○	○		55,000*
				○	17,000

*同時出願した場合の、割引後の金額です(併願割引は同一学部内のみ該当)。

*公募推薦の出願基準を満たし、かつ赤十字特別推薦を第一志望とする場合は、公募推薦と赤十字特別推薦の併願が可能です。この場合、入学検定料は合計40,000円となります。

入試結果

看護学部 看護学科

2022年度入試結果

■ 倍率＝受験者数[A]÷(合格者数[B]+補欠線上合格者数[C])
大学入学共通テスト利用型は、志願者数[A]÷(合格者数[B]+補欠線上合格者数[C])

<一般選抜>

入試種別	募集人員		志願者数	受験者数 [A]	1次試験 合格者数	2次試験 合格者数 [B]	補欠者数	補欠線上 合格者数 [C]	倍率	入学者数	(現役)
一般	50名	女	579	580	288	143	50	19	3.6	68	(67)
		男	33							4	(4)
		計	612							72	(71)

<大学入学共通テスト利用型>

入試種別	募集人員		志願者数 [A]	合格者数 [B]	補欠者数	補欠線上 合格者数 [C]	倍率	入学者数	(現役)
I-A	5名	女	195	23	39	1	8.4	1	(1)
		男	6					0	(0)
		計	201					1	(1)
I-B	5名	女	217	27	31	1	8.0	1	(1)
		男	8					0	(0)
		計	225					1	(1)
II	5名	女	36	5	13	4	4.2	4	(3)
		男	2					1	(1)
		計	38					5	(4)

<学校推薦型選抜>

入試種別	募集人員		志願者数	受験者数 [A]	合格者数 [B]	補欠者数	補欠線上 合格者数 [C]	倍率	入学者数
公募推薦	合計65名 ※公募・指定校・赤十字合計	女	85	85	34	-	-	2.5	32
		男	4						2
		計	89						34
指定校推薦		女	26	27	27	-	-	1.0	26
		男	1						1
		計	27						27
赤十字特別推薦		女	8	8	4	-	-	2.0	4
		男	0						0
		計	8						4

<3年次編入学>

学部学科	募集人員		志願者数	受験者数 [A]	合格者数 [B]	補欠者数	補欠線上 合格者数 [C]	倍率	入学者数
看護	10名	女	23	26	11	2	1	2.2	8
		男	4						0
		計	27						8

2022年度出身校所在地別志願者数

出身	志願者数	出身	志願者数	出身	志願者数	出身	志願者数
北海道	9	神奈川県	188	大阪府	13	福岡県	2
青森県	0	新潟県	2	兵庫県	1	佐賀県	0
岩手県	1	富山県	2	奈良県	1	長崎県	0
宮城県	4	石川県	0	和歌山県	3	熊本県	2
秋田県	0	福井県	0	鳥取県	0	大分県	0
山形県	1	山梨県	8	島根県	0	宮崎県	4
福島県	2	長野県	13	岡山県	1	鹿児島県	1
茨城県	47	岐阜県	2	広島県	5	沖縄県	2
栃木県	6	静岡県	11	山口県	2	その他	4
群馬県	10	愛知県	16	徳島県	4	合計	1200
埼玉県	147	三重県	1	香川県	2		
千葉県	114	滋賀県	1	愛媛県	1		
東京都	562	京都府	4	高知県	1		

※その他は高等学校卒業程度認定試験合格者、外国等の高等学校卒業生等

2022年度出身校所在地別入学者数

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	4	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1	12	19	71	14	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1	14	20	75	14	0	0	0
	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県
男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	1	2	0	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	3	0	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	その他	合計		
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8		
女	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	136		
合計	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	144		

※その他は高等学校卒業程度認定試験合格者、外国等の高等学校卒業生等

さいたま看護学部 看護学科

■ 2022年度入試結果

■ 倍率＝受験者数[A]÷(合格者数[B]+補欠線上合格者数[C])
大学入学共通テスト利用型は、志願者数[A]÷(合格者数[B]+補欠線上合格者数[C])

<一般選抜>

入試種別	募集人員		志願者数	受験者数 [A]	1次試験 合格者数	2次試験 合格者数 [B]	補欠者数	補欠線上 合格者数 [C]	倍率	入学者数	(現役)
一般	34名	女	317	332	177	110	50	0	3.0	41	(39)
		男	26							2	(2)
		計	343							43	(41)

<大学入学共通テスト利用型>

入試種別	募集人員		志願者数 [A]	合格者数 [B]	補欠者数	補欠線上 合格者数 [C]	倍率	入学者数	(現役)
I-A	2名	女	85	21	23	0	4.3	1	(1)
		男	5					0	(0)
		計	90					1	(1)
I-B	2名	女	109	22	23	0	5.3	1	(1)
		男	7					0	(0)
		計	116					1	(1)
II	2名	女	19	2	8	2	5.3	1	(1)
		男	2					1	(1)
		計	21					2	(2)

<学校推薦型選抜>

入試種別	募集人員		志願者数	受験者数 [A]	合格者数 [B]	補欠者数	補欠線上 合格者数 [C]	倍率	入学者数
公募推薦	合計40名 ※公募・指定校・赤十字合計	女	52	54	28	-	-	1.9	26
		男	5						2
		計	57						28
指定校推薦		女	9	9	9	-	-	1.0	9
		男	0						0
		計	9						9
赤十字特別推薦		女	7	8	3	-	-	2.7	2
		男	1						1
		計	8						3

■ 2022年度出身校所在地別志願者数

出身	志願者数	出身	志願者数	出身	志願者数	出身	志願者数
北海道	3	神奈川県	17	大阪府	6	福岡県	1
青森県	1	新潟県	5	兵庫県	0	佐賀県	0
岩手県	0	富山県	1	奈良県	2	長崎県	1
宮城県	1	石川県	0	和歌山県	0	熊本県	2
秋田県	0	福井県	0	鳥取県	0	大分県	0
山形県	0	山梨県	1	島根県	0	宮崎県	0
福島県	3	長野県	15	岡山県	0	鹿児島県	2
茨城県	26	岐阜県	0	広島県	1	沖縄県	1
栃木県	22	静岡県	6	山口県	0	その他	0
群馬県	27	愛知県	7	徳島県	0	合計	644
埼玉県	293	三重県	1	香川県	2		
千葉県	32	滋賀県	0	愛媛県	0		
東京都	165	京都府	0	高知県	0		

※その他は高等学校卒業程度認定試験合格者、外国等の高等学校卒業生等

■ 2022年度出身校所在地別入学者数

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県
男	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	1	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	1	5	1	3	42	6	20	1	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	1	5	2	3	44	6	22	2	0	0	0
	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	その他	合計		
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	81		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	87		

※その他は高等学校卒業程度認定試験合格者、外国等の高等学校卒業生等

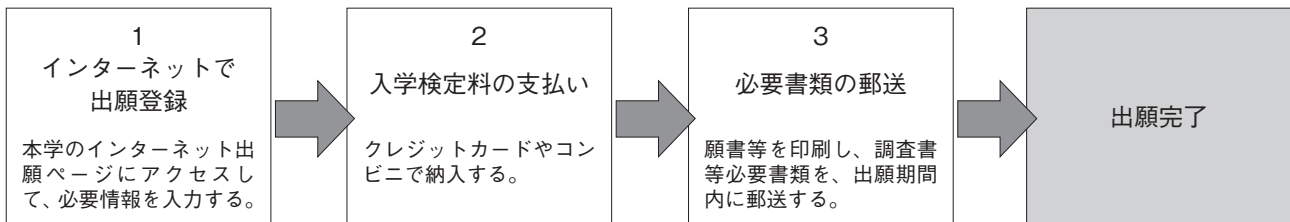
Information

I. 学生募集要項・過去問題集について

1. 2023年度学生募集要項(公募推薦・赤十字特別推薦・一般選抜・共通テスト利用型)

インターネット出願を導入しています。これに伴い、冊子体での配布はありません。学生募集要項は、本学ホームページから直接ダウンロードできます(9月公開予定)ので、出願前に必ずご確認ください。詳細は本学ホームページで順次お知らせします。

インターネット出願の流れ



2. 過去問題集

2020・2021・2022年度の各入試過去問題集を無料で配布します。

ホームページの資料請求ページからお申し込みください。

- ・2022年度 一般選抜・公募推薦・指定校推薦入試問題集
- ・2021年度 一般選抜・公募推薦・指定校推薦入試問題集
- ・2020年度 一般入試・公募推薦入試問題集

3. 3年次編入学試験募集要項・過去問題について

募集要項は、本学ホームページから直接ダウンロードできます。

出願書類は、本学ホームページから直接ダウンロードし、印刷してください。また、過去3年分の過去問題を本学ホームページの「過去問題(3年次編入学試験)申込フォーム」からPDFでのダウンロードの請求ができます。

II. オープンキャンパス、ミニオープンキャンパス、さいたま看護学部説明会について

看護学部(広尾キャンパス)

	日 程	詳 細
オープンキャンパス	2022年 7月24日(日)	完全事前予約制／来校開催
	2022年 8月 6日(土)	
	2022年 8月 7日(日)	
ミニオープンキャンパス	2022年 6月26日(日)	完全事前予約制／オンライン開催
	2022年 9月25日(日)	
	2022年10月16日(日)	

さいたま看護学部(大宮キャンパス)

	日 程	詳 細
オープンキャンパス	2022年 6月19日(日)	完全事前予約制／来校開催
	2022年 7月 3日(日)	
	2022年 8月 7日(日)	
学部説明会	2022年10月30日(日)	完全事前予約制／オンライン開催
	2022年11月26日(土) ※大学祭と同時開催	完全事前予約制／来校開催

Ⅲ. キャンパス見学、外部進学相談会について

キャンパス見学

平日午前9時から午後5時まで、キャンパス見学を受け付けています。土曜日・日曜日・祝日、定期試験期間、夏季・冬季一斉休業、本学入学者選抜試験日(試験前日含む)、学校行事実施日等は見学できません。お電話等で事前に各キャンパスへお問い合わせください。

※2022年度は、新型コロナウイルスの感染状況等を考慮し、事前予約制としています。お申込方法および最新情報は本学ホームページをご覧ください。

外部進学相談会

入試に関するご質問はもちろん、授業内容や実習に関する質問、学生生活について等、大学教職員が直接お答えします。お気軽にご参加ください。

Ⅳ. 高校生向け公開授業について

例年、看護学部(広尾キャンパス)では高校生を対象に公開授業を実施していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を予防する観点から、実施を中止しています(2022年6月現在)。

本学ホームページで授業の様子をご覧いただけます。

▶看護学部



▶さいたま看護学部



上記日程や時間、開催方法は、感染防止にかかる社会情勢や気象状況等により変更する場合があります。本学のイベント情報の詳細は、本学ホームページでお知らせしています。



学費・特待生制度

※2023年度納付金額(予定)

看護学部看護学科(広尾キャンパス)

学費

学生納付金は次のとおりです。入学手続き時の納入金額は、入学金のみです。授業料等は、4月に年額を全納か、4月・10月に半額ずつ分納となります。

看護学部看護学科

種類	納入金額			
	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300,000円	—	—	—
授業料	1,200,000円	1,200,000円	1,200,000円	1,200,000円
実験実習料	100,000円	200,000円	220,000円	220,000円
維持運営費	240,000円	240,000円	240,000円	240,000円
合計	1,840,000円	1,640,000円	1,660,000円	1,660,000円

※上記学納金のほか、教科書代、傷害・総合保険料（毎年額4,500円）、実習着・ナースシューズ代等（1年生のみ5万円程度）、保護者会費（毎年額2万円）等が必要となります。
また、保健師教育課程（選択履修制）を選択した場合は、4年次の4月に別途履修料10万円（予定）が必要となります。

3年次編入学生

種類	3年次	4年次
入学金	300,000円	—
授業料	1,200,000円	1,200,000円
実験実習料	100,000円	100,000円
維持運営費	240,000円	240,000円
合計	1,840,000円	1,540,000円

特待生制度

学業成績等の優秀な者に授業料を免除することにより、本学学生の勉学を奨励するとともに学習意欲の高揚を図る制度です。

※3年次編入学生は対象となりません。

特待生 A：一般選抜の成績優秀者で上位3名……………授業料全額免除（1年次の1年間）

特待生 B：入学後の各年度の成績優秀者で上位5名……………授業料半額免除（選抜された学年の1年間）

さいたま看護学部看護学科(大宮キャンパス)

学費

学生納付金は次のとおりです。入学手続き時の納入金額は、入学金のみです。授業料等は、4月に年額を全納か、4月・10月に半額ずつ分納となります。

種類	納入金額			
	1年次	2年次	3年次	4年次
入学金	300,000円	—	—	—
授業料	1,200,000円	1,200,000円	1,200,000円	1,200,000円
実験実習料	100,000円	200,000円	220,000円	220,000円
維持運営費	180,000円	180,000円	180,000円	180,000円
合計	1,780,000円	1,580,000円	1,600,000円	1,600,000円

※上記学納金のほか、教科書代、傷害・総合保険料（毎年額4,500円）、実習着・ナースシューズ代等（1年生のみ5万円程度）、保護者会費（毎年額2万円）等が必要となります。
また、保健師教育課程（選択履修制）を選択した場合は、4年次の4月に別途履修料10万円（予定）が必要となります。

特待生制度

学業成績等の優秀な者に授業料を免除することにより、本学学生の勉学を奨励するとともに学習意欲の高揚を図る制度です。

特待生 A：一般選抜の成績優秀者で上位2名……………授業料全額免除（1年次の1年間）

特待生 B：入学後の各年度の成績優秀者で上位3名……………授業料半額免除（選抜された学年の1年間）

奨学金制度

奨学金は、経済的理由により修学困難な学生に学業継続を援助するための制度です。奨学金の種類によっては併用できないものもあります。奨学生の募集・申請の時期、必要な提出書類等については入学後に説明しています。また、本学ホームページでも紹介しています。

日本赤十字社奨学金(貸与)

卒業後、各赤十字病院に看護師として勤務を希望する者に、奨学金を貸与します。奨学生の募集人数や奨学金の額は、各支部・各病院により異なります。採用にあたっては、各支部あるいは各病院にて夏季休暇期間中等に採用試験を行い、選考により決定します。

名称	貸与額(月額)
日本赤十字社各都道府県支部	4～6万円程度
日本赤十字社医療センター、各赤十字病院	4～7万円程度

伊藤・有馬記念基金奨学金(給付)

本学独自の奨学金制度で、学納金の負担軽減を目的とし、前年度もしくは当該年度の経済状況等により選考されます。外国留学奨励金は海外研修費などの一部として多くの学生に利用されています。年度ごとに申請できます。

種類	給付額(年額)
学生奨学金	20万円以内
学生外国留学奨励金	10万円以内

大嶽康子記念奨学金(給付)

本学独自の奨学金制度で、学納金の負担軽減を目的とし、経済的理由により修学が困難な学生5名(1人20万円以内)に給付されます。年度ごとに申請できます。

松下清子記念奨学金(海外研修・国際交流)(給付)

本学独自の奨学金制度で、海外研修・国際交流等に参加する者のうち、経済的理由により自費での参加が困難な学生に給付されます(20万円以内)。年度ごとに申請できます。

保護者会奨学金(給付)

①経済的理由により修学困難な学生に給付される奨学金(上限20万円)②海外留学・研修希望の学生に給付される奨学金(上限5万円)③入学後の各年度の成績優秀者で看護学部上位5名以内、さいたま看護学部上位3名以内[対象学年:2・3・4年生(特待生および編入生除く)]への奨学金(3万円)の3種類があります。

東京都看護師等修学資金(貸与)

東京都看護師等修学資金は、看護師等養成施設等に在学し、将来都内で看護業務に従事する意思がある方に対し、修学資金を貸与(貸付)することにより修学を容易にし、都内の看護職員の確保等を図ることを目的とした制度です。

- (1) 貸与月額
25,000円、50,000円、75,000円、100,000円
※いずれか1つ

- (2) 返還免除
免除要件を満たした場合は、申請により貸与を受けた修学資金の全部又は一部の免除が受けられます。
詳細は東京都看護師等修学資金のホームページをご参照ください。

埼玉県看護師等育英奨学金貸与制度※さいたま看護学部のみ対象

埼玉県では、埼玉県内の施設に在学し、将来県内において看護師等の業務に従事しようとする方、経済的な理由により修学が困難な方に対して、育英奨学金を貸与しています。

- (1) 奨学生の種類及び貸与金額

種類	貸与額(年額)
国公立養成施設以外	540,000円

- (2) 返還免除はありません

※奨学金の採用にあたっては、審査・選考等があります。

その他の奨学金

学校法人日本赤十字学園大規模災害被災学生奨学費[適用災害につき1回限り].....	授業料減免措置 (半期授業料上限)
一般財団法人 日本赤十字社看護師同方会奨学資金(貸与).....	月額3万円
日本赤十字看護大学同窓会奨学金(貸与)[在学中1回限り].....	50万円
公益信託高島君子記念看護奨学基金(給付)[3年次1回限り・2年間].....	月額3万円
各道府県・市区町村看護師等修学資金(貸与) (東京都看護師等修学資金・埼玉県看護師等育英奨学金とは併用不可).....	詳細は各道府県ホームページを参照
あしなが育英会.....	月額7～8万円

日本学生支援機構奨学金（貸与）

学業成績及び家庭の経済状況(収入基準あり)により、学内の「奨学生選考基準」に従い推薦します。毎年4月～5月に募集し、推薦者を大学で取りまとめて申請をしています。日本学生支援機構の選考により決定します。

((※)は2018年度以降入学生のみ)

大学	第一種 (無利子)	自宅通学	20,000円(※)、30,000円、40,000円(※)、54,000円(※)、から選択
		自宅外通学	20,000円(※)、30,000円、40,000円(※)、50,000円(※)、64,000円から選択
	第二種(有利子)		20,000円～120,000円(10,000円単位) から選択

(2) その他

失職・災害等による家計急変の場合には緊急採用、応急採用もあります。

受給状況(2021年度)

看護学部	1年次	2年次	3年次	4年次
伊藤・有馬記念基金奨学金	9人	10人	10人	7人
松下清子記念教育・研究及び奨学金	3人	4人	2人	4人
日本赤十字社奨学金	20人	38人	80人	90人
日本学生支援機構	45人	44人	36人	45人
その他(財団等)	28人	47人	44人	49人

さいたま看護学部	1年次	2年次
伊藤・有馬記念基金奨学金	14人	18人
大嶽康子記念奨学金	5人	8人
松下清子記念教育・研究及び奨学金	5人	9人
日本赤十字社奨学金	9人	20人
日本学生支援機構	28人	38人
その他(財団等)	8人	22人

※奨学金の採用にあたっては、審査・選考等があります。

Q&A

オープンキャンパスや進学相談会で、よく聞かれる内容をここに紹介します。

看護大学・看護師について

Q. 大学での看護教育は、短期大学や専門学校とどう違うのですか？

A. 大学は、教育の場であると同時に看護学を研究し体系化していく学びの場でもあります。
豊かな教育環境の中で看護学を学問として学び、知識を活用して自ら主体的に判断する能力や、将来看護学を発展させていく能力の基礎を身につけることができます。
また、看護学の授業の他にも教養系の科目が充実しているため、より広く深い知識を体系的に学ぶことができます。

Q. 看護師、保健師の業務について教えてください。

A. 看護師は主に病院や診療所において、病気やケガで通院または入院している方々に対し、医師等の指示のもとで専門的な知識・技術に基づいて、診療補助業務や援助を行います。また、訪問看護等では家庭で療養している人への援助も行います。臨床経験後には、専門看護師（CNS）などのスペシャリストを目指すことができます。
保健師は、保健所・市町村・学校・企業等において、個人や集団とその背景を複眼的に捉えながら、疾病予防や健康の保持推進、健康的な地域社会をつくるための幅広い活動を行います。

入試について

Q. 指定校推薦について教えてください。

A. 指定校推薦は、例年6月を目処に高等学校（中等教育学校）の校長先生宛に依頼状をお送りしています。通っている高校が指定校になっているかどうかは、担任の先生や進路指導室の先生に確認してください。

Q. 出願期間中に入試の出願状況を知ることはできますか？

A. 本学ホームページの「入試・受験生向けのお知らせ」のページに出願状況を速報値で掲載します。
年度により変更になる可能性がありますので、詳しくは本学ホームページをご覧ください。

Q. 入試の合否判定に基準点を設けていますか？また、点数等は公表していますか？

A. 全ての入試において、合格基準点は設けていません。また、最高点・最低点・平均点等、入試の成績は公表していません。

Q. 合格発表の方法について教えてください。

A. 学内掲示、合否照会サイト、合格通知等で発表します。選抜種別により合格発表方法が異なります。詳細は学生募集要項を確認してください。

Q. 入試の補欠について教えてください。

A. 一般選抜と共通テスト利用型で補欠者が出た場合には、合格発表日に合否照会サイトで発表し、本人宛に通知を発送します。掲示での発表は行いません。入学定員に欠員が生じた場合、繰上合格とし入学を許可することがあります。
なお、補欠者の繰上合格状況は本学ホームページで公表します。繰上合格を終了した場合には、補欠繰上合格の場合の連絡先を提出した補欠の方で、補欠繰上未連絡となった方にその旨を4月上旬までに郵送で通知します。

Q. 入試の選択科目によって、難易度や合格率に差がありますか？

A. 選択科目により出願者数は異なりますが、選択した科目によって不公平がないよう調整されています。過去問題集などを見て、自分の得意な科目で出願してください。

Q. 一般選抜や共通テスト利用型Ⅰを受験した後、共通テスト利用型Ⅱに出願することは可能ですか？

A. 可能です。ただし、大学入学共通テストで必要な科目を必ず受験しておく必要があります。共通テスト利用型Ⅱは他の入試と出願期間が異なりますので注意してください。

Q. 検定料を振り込みましたが出願しませんでした。検定料は返金していただけますか？／間違って検定料を2回振り込みました。検定料は返金していただけますか？

A. 一度納入された入学検定料は原則返還できませんが、次の事由のいずれかに該当し、入学検定料返還の願い出が受理された場合は、返還します。

2回振り込んでしまった場合は、3.に該当しますので、返還します。なお、振込あるいは事務手数料については返還対象外です。

該当する場合は、入試の試験日までに入試・広報係までご連絡ください。

1. 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
2. 入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。
3. 入学検定料を適正な額より多く納入した。

Q. 筆記試験対策としてどのような準備が必要ですか？

A. まずは過去問題集を参考にしてください。特に国語と英語は長文の問題があり特徴的です。出題形式に慣れておくことをお勧めします。過去問題集はオープンキャンパスでの配布や本学ホームページの資料請求ページから過去3年分を入手できます。

またオープンキャンパスでは国語と英語の「入試解説」を実施しています。

Q. 面接はどのように行われるのですか？

A. 一般選抜と学校推薦型選抜では、グループ討議と個人面接を行います。2020年度入試では、20～30分程度の集団面接（グループ討議）と、個人面接を行いました。集団面接は6～8名程度で、ひとつのテーマについて自由に話し合いをする形式でした。

なお、面接では主にコミュニケーション能力や学ぶ意欲などが評価されます。

共通テスト利用型では本学での面接はありません。

※2021年度及び2022年度入試においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、グループ討議は中止としましたが、2023年度入試では2022年5月時点で、グループ討議を行う方向で検討しています。最新の情報は本学ホームページでお知らせしますので、ご確認くださいようお願いします。

海外留学について

Q. 留学や研修等で、海外の大学で学ぶことができますか？

A. 看護学部・さいたま看護学部では、スウェーデン赤十字大学、スイスのラ・ソース大学と協定を結んでおり、3年次に原則として看護学部2名、さいたま看護学部1名を対象とした交換留学を実施し、同大学で臨床実習・授業を3～5週間程度行います。現地での実習・宿泊費用は派遣先の大学が負担し、旅費は本学の奨学金制度により充当されます。個人の滞在費用のみ学生負担となります。

語学研修としては、看護学部・さいたま看護学部の1年生を主な対象に、アメリカのワシントン大学に4週間程度の短期留学を紹介しています。ホームステイをしながら、異文化や語学教育を体験することができます。費用は60万円程度です（レート等により変動します）。

その他、授業の演習でも海外研修に参加する機会があります。費用は年度・研修先によって異なりますので、詳しくは国際交流センターまで問い合わせてください。

なお、2022年度は交換留学・語学研修ともに実施するか検討中です。

奨学金制度について

Q. 奨学金制度について教えてください。

A. 本学独自の奨学金に加え、赤十字病院や各種財団、各地方自治体の運営する制度があります。本学独自の奨学金と一般の奨学金を併用して受給することが可能な奨学金もあります。奨学金には貸与型と給付型があります。貸与型の場合は返還についてよく検討した上で申し込んでください。詳細は16～17ページを参照してください。なお、奨学金の採用には、審査・選考等があります。

Q. 奨学金についての説明会はいつ行われますか？

A. 入学後、4月のガイダンスで説明します。ガイダンスでは、必要書類や申し込み方法等の詳細について、資料を配付しています。入学前に奨学金について詳しく知りたい場合は、オープンキャンパスや進学相談会、入試相談などにお越しください。

Q. 奨学金は希望すれば必ず採用されますか？

A. 必ず採用されるとは限りません。奨学金には採用選考があります。また、人数枠が決められており、家庭の経済的な状況などを考慮して採用される奨学金もあります。

Q. 日本赤十字社の奨学金を受けた場合、卒業後は日本赤十字社の病院に勤務しないといけませんか？

A. 卒業後すぐに日本赤十字社の病院に勤務を希望する方を対象とした奨学金です。奨学金を貸与された施設に就職することになります。

特待生制度について

Q. 一般選抜の特待生制度について教えてください。

A. 一般選抜成績上位者を特待生 A とし、1年間の授業料を免除する制度です。入学金、維持運営費、実験実習料は納入していただきます。

対象となる人数は学部により異なります。詳しくは P.15をご覧ください。

Q. 在学中の特待生制度はありますか？

A. 2・3・4年生（編入学生除く）の各学年において、前年度履修した科目が全て「B」以上で、かつ再履修科目がない者のうち、必修科目の評点（点数）の平均点が上位の学生を特待生 B として選考します。

該当者は、その年度の授業料が半額免除となります。ただし、授業料半額・維持運営費・実験実習料は納入していただきます。

他大学での既修得単位を認定された者、履修登録した科目の途中放棄や試験未受験がある者は、選考対象外となります。

対象となる人数は学部により異なります。詳しくは P.15をご覧ください。

取得資格について

Q. 保健師の国家試験受験資格は定員制ということですが、どうすれば受験資格を得られますか？

A. 保健師国家試験受験資格を得るためには、公衆衛生看護学科目の履修が必要となります。その定員が各学部20名（看護学部は3年次編入学生若干名を含む）であることから、履修希望者が多い場合は選抜となり、全員が受験資格を得ることはできません。

履修志願申請が必要となりますので、入学後に実施する履修ガイダンスで選抜方法について必ず確認してください。

Q. 将来、高等学校等の保健室の先生（養護教諭）を目指しています。大学で単位を修得して資格を取ることはいくつか？

A. 本学のカリキュラムの中には養護教諭一種資格取得のための教員養成課程はありません。

ただし、所定の科目の単位を修得し保健師免許の交付を受けた後に、申請により養護教諭二種免許を取得することができます。一種と二種には違いがありますが、二種でも保健室の先生として勤務することは可能です。

Q. 将来、助産師を目指しています。大学で単位を修得して資格を取ることはいくつか？

A. 看護学部・さいたま看護学部では、助産師国家試験受験資格は取得することができません。大学院修士課程国際保健助産学専攻実践コースで取得することができます。修士課程への入学を希望する場合、学部4年次または大学卒業後に大学院の入試を受けることになります。学部4年次には、学内選考の他に学内推薦入試も実施しています。また、本実践コースでは受胎調節実地指導員の資格も取得できます。

Q. 大学で赤十字救急法救急員の資格を取得することはできますか？

A. 看護学部では「災害看護学Ⅰ」の課外授業に講習が組み込まれているため、取得することが可能です。また、赤十字健康生活支援員については災害看護活動論の授業に組み込まれています（※さいたま看護学部は該当しません）。さらに、夏季・冬季・春季休暇などを利用して赤十字各都道府県支部が主催している講習会へ参加することもできます。

実習について

Q. 実習ではどのようなことをするのですか？

A. 実習は、講義・演習で学んだ知識や技術を基に、大学教員や各施設の臨床指導者の指導を受けながら看護実践能力を養うものです。病院では一人の患者さんを受け持ち、人間関係を築きながら、その人が持っている力を最大限に引きだせるような援助について学びます。また、病院だけでなく、乳児院・介護老人保健施設・訪問看護ステーションなどでも実習を行い、様々な健康状態にある人々がその人らしく生活できるような援助について学んでいきます。

Q. 実習はどのようなスケジュールで行われますか？

A. 1・2年次には2～5週間、看護学部は日本赤十字社医療センター・武蔵野赤十字病院・大森赤十字病院・横浜市立みなと赤十字病院等で看護援助論実習を行います。さいたま看護学部は、さいたま赤十字病院、深谷赤十字病院、小川赤十字病院で実習を行います。3・4年次には、精神保健・母性・小児・老年・健康レベル別・地域・在宅看護学に関する実習、看護学総合実習を各2～3週間、各領域の関連施設で行います。

また、保健師国家試験受験資格を取得する場合は公衆衛生看護学実習を4年次に5週間、指定された保健所等で行います。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、臨地実習及び遠隔学習、学内実習を組み合わせることにより実施しました。

実習先とWEBで繋ぎ、施設利用者との交流の機会や実習指導者からの指導の機会を設けるなど、臨床とのつながりをもちながら実習を行いました。

また、一定の訓練を受けて、実際の患者と同じような症状や会話を再現できる患者役を演じる模擬患者を活用した実習や、実際のケア場面を想定して、教員が患者役になりロールプレイを行うなど工夫し、可能な限り臨床場면을再現し質を保証しました。

資格取得と卒業後の進路について

Q. 国家試験はどの程度の合格率ですか？

A. 昨年度の合格率（新卒者）は、看護師98.6%、保健師94.7%です [全国（新卒者）：看護師96.5%、保健師93.0%]。例年、2月中旬に国家試験が行われています。本学では3年次に国家試験形式の模擬試験を実施し、2年次までの学習修得状況を確認しています。

また国家試験を控えている4年生には、年間を通して行われる模擬試験の結果を分析して対策講座を開講しています。教員による相談窓口も設け、万全のサポート体制で臨んでいます。

Q. 卒業すると、必ず日本赤十字社の病院に就職することになるのですか？

A. 学生本人の意思により各自就職活動をして卒業後の進路を決めるため、そのようなことはありません。ただし日本赤十字社関係の奨学生は、卒業後に奨学金を貸与された施設に就職することになります。

Q. 在学中に就職ガイダンス等の進路指導は行っていますか？

A. 毎年全学年を対象とした病院説明会を開催しています。また就職情報室では、各施設の求人情報を自由に閲覧することが可能です。

Q. 男子学生の卒業後の進路について知りたいです。

A. 男女の区別はありません。男子学生も女子学生と同様に希望する進路へ進んでいます。

編入学制度について

Q. 編入学制度は、どのような方を対象としたものですか？

A. 看護学部では、看護系短期大学や3年制専門学校を卒業された（見込者含む）方を対象に、3年次への編入学試験を行っています。新しい時代に対応した看護専門職者の育成のため、短期大学や専門学校で学んだ知識を基に、能力のさらなる向上を図ることを目的としています。

Q. 編入学生の修学と、卒業時の取得資格について教えてください。

A. 編入学できる学年は3年次のみで、修学年数は2年間です。卒業時には学士（看護学）の学位が授与されます。

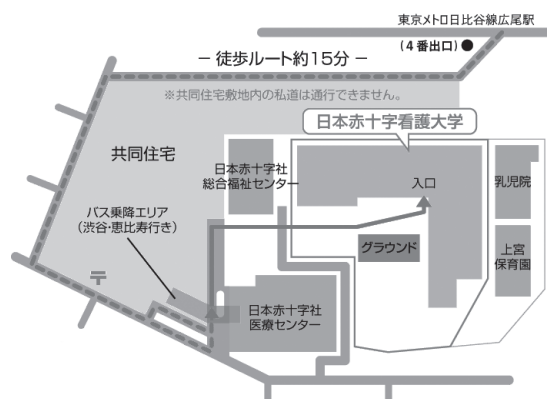
入学定員10名の内、入学後の選考を経て公衆衛生看護学科目の履修を許可された方（若干名）は、保健師国家試験の受験資格を得ることができます。

Q. 編入学生の既修得単位認定について教えてください。

A. 85単位を限度として一括認定します。なお、看護系短期大学・専門学校等の卒業前後に、一般大学・短期大学・専攻科等を卒業された方についても、入学時に85単位を限度として単位認定します。入学後に看護系以外の大学等での既修得単位の認定申請を受け付けています。

Q. 編入学生への教育上の配慮はありますか？

A. 専門科目については学部生と合同の授業を行います。が、多様な背景（年齢、既修の学習内容、臨床経験、志望動機等）を考慮し、一部の教養教育科目・英語・基礎ゼミの科目については、編入学生のみを対象とする少人数クラスの授業としています。



広尾キャンパス

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3

- 各路線渋谷駅から都営バス(学03)「日赤医療センター前」行 終点下車
- 各路線恵比寿駅から都営バス(学06)「日赤医療センター前」行 終点下車
- 東京メトロ日比谷線広尾駅から徒歩約15分



大宮キャンパス

〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合8-7-19

- 各路線大宮駅から徒歩約10分

お問い合わせ

■看護学部（広尾キャンパス）
日本赤十字看護大学 入試・広報係
電話：03（3409）0950
koho@redcross.ac.jp
（大学見学、オープンキャンパス等）
nyushi@redcross.ac.jp
（入試関係）

大学窓口取扱期間 平日／9：00～17：00
（土、日、祝日は休業）

■さいたま看護学部（大宮キャンパス）
日本赤十字看護大学さいたま看護学部 入試・広報担当
電話：048（799）2747
s-nyushikoho@redcross.ac.jp
（大学見学、オープンキャンパス等）
nyushi@redcross.ac.jp
（入試関係）

大学窓口取扱期間 平日／9：00～17：00
（土、日、祝日は休業）